

令和6年度 理解推進研修

千代田区、中央区、台東区、墨田区、江東区等の区立小・中学校及び
都立特別支援学校の教職員の皆様

授業力向上研修 「数の基礎学習 ～導入期の指導～」

講師

- ・宮城 武久氏
つばき教育研究所理事長
- ・宇川 和子氏
多摩つばき教育研究所所長

数の基礎概念について、合成・分解までの指導方法を系統的に学びます。(特別支援学校学習指導要領「知的障害者である児童に対する教育を行う特別支援学校 算数」の第1段階に準拠した内容です)

令和6年 8月21日(水)
午後13時半から16時半まで
(受付 13時から13時20分)

場所: 都立墨東特別支援学校
体育館

【申し込み方法】
QRコードからFormsにて
お申し込みください。

申し込みフォーム
こちらのQRコードからお申し込みください



上限人数に達しましたので、受付を終了させていただきます。

15名まで(先着順)
* 受け入れ人数が達した場合は受付を終了します。

【お問い合わせ】

都立墨東特別支援学校
東京都江東区猿江2-16-18 (電話) 03(3634)8431

(担当)副校長 景山陽子 主幹教諭 加藤尚

<主任講師をお願いする宮城武久先生の御紹介>

長きにわたり、埼玉県内で「つばき教育研究所」を理事長として運営され、障害の種別や程度を問わず東京・埼玉等の各地から個別指導を希望される方を広く受け入れ、お子さんの学習心理を踏まえた「個別学習による学力向上の指導」を研究されています。研究所では、保護者送迎で週一回、1時間程度の個別指導を保護立ち合いの下で、専任研究員が行っています。事後の振り返りの中では、お子さんの判断力、思考力を伸ばす家庭での接し方等についてもアドバイスを受けられています。

この研究所に通った何百人を超えるお子さんの指導の蓄積から確立された指導方法は、書籍として発刊されてロングセラーになっています。

【宮城先生・宇川先生の書籍紹介】株式会社Gakken「障害がある子どもの基礎学習」シリーズ全6巻

- ① **障害がある子どもの考える力を育てる基礎学習**
形を見比べる 大きさを見比べる 衣服を着る・脱ぐ よく見て覚える
- ② **障害がある子どもの文字を書く基礎学習**
ひらがな・漢字の基礎学習
- ③ **障害がある子どもの数の基礎学習**
量の理解から繰り下がりの計算まで
- ④ **障害がある子どもの文字を読む基礎学習**
導入から単語構成の指導
- ⑤ **障害がある子どもの文・文章の理解の基礎学習**
文をつくる 文章の内容がわかる
- ⑥ **障害がある子どもの時計・お金の基礎学習**
時計を読む お金を数える 絵の向きや位置を理解する

宮城武久先生は、障害のあるお子さんの基礎学習に関する指導の国内での卓越した存在として、都教職員研修センター初任者研修・専門研修への講師招聘だけでなく、今も毎日、都立特別支援学校多数に外部専門家の「学習指導アドバイザー」として招聘され、教員の学習指導向上のアドバイスをされています。その合間に北海道から沖縄まで全国の教育委員会や各地の肢・知・視覚特別支援学校、都道府県の校長会等に招かれて、教員研修や保護者学習会の講演に飛び回られていられます。今回は、本校のために特に日程調整をしてくださり、研修開催が可能となりました。

<区立学校等で特別支援教育を担う皆さんも一緒に学びましょう！>

当日は、体育館を会場に本校教職員を中心に**50人**規模で開催しますが、地域向け公開講座として墨東特別援学校の連携エリア(千代田区、中央区、台東区、墨田区、江東区)内の小・中学校等の教職員で特別支援教育の担当者や関心のある方等にも御案内します。ぜひ御参加ください。

当日は宮城先生と宇川先生が個別指導のやり方を実演して見せてくださってから、受講者はお子さん役と指導者役で2人ペアになって、役を入れ代わりながら、子どもの心理、教える側の心理、言葉かけ・教材提示のタイミング等を実感しつつ、宮城先生・宇川先生から随時アドバイスを受けて、コツを体得する模擬指導体験型の「楽しく学べる形態」です。教材も学校側で用意し、ペアも調整しますのでご安心ください。